

(風しん・MR) ワクチン 予防接種予診票(任意接種)

(風しん予防接種助成用)

		診察前の体温	度	分
住所	朝倉市			電話
ふりがな		男	生年月日	年 月 日 (満 日生 歳)
氏名		女		

質問事項	回答欄		医師記入欄
今までに風しん又はMRの予防接種を受けたことがありますか。	いいえ	はい	
その際に具合が悪くなったことはありますか。	いいえ	はい	
今までに風しんにかかったことがありますか。	いいえ	はい	
今日受ける予防接種について予診票裏面の説明書を読みましたか。	はい	いいえ	
今日の予防接種の効果や副反応について理解しましたか。	はい	いいえ	
今日、体に具合の悪いところがありますか。 具合の悪い症状を書いてください。(いいえ	はい	
現在何か病気にかかっていますか。(病名	いいえ	はい	
治療(投薬など)を受けていますか。	いいえ	はい	
その病気の主治医には、今日の予防接種を受けてもよいと言われましたか。	はい	いいえ	
最近1ヵ月以内に熱が出たり、病気にかかったりしましたか。 病名(いいえ	はい	
1ヵ月以内に家族や周りの人に麻しん、風しん、水痘、おたふくかぜなどの病気の方がいましたか。病名(いいえ	はい	
心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患などの慢性疾患にかかったことがありますか。 病名(いいえ	はい	
その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種を受けてよいと言われましたか。	はい	いいえ	
免疫不全と診断されたことがありますか。	いいえ	はい	
薬や食品で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか。	いいえ	はい	
ひきつけ(けいれん)を起こしたことがありますか。	いいえ	はい	
1ヵ月以内に予防接種を受けましたか。 予防接種の種類(いいえ	はい	
女性の方へ 現在妊娠している可能性(生理が予定より遅れているなど)はありますか。 (注)接種後2ヵ月間は妊娠をさける必要があります。	いいえ	はい	
今日の予防接種について質問がありますか。	いいえ	はい	
風しんの抗体検査を受けましたか。下記に○を付けてください。 風しん抗体検査: HI法 32倍未満 : EIA法 ①EIA価 8.0未満 ②30 IU/mL未満 : LTI法 30IU/mL未満 : CLEIA法 ③45 IU/mL未満 ④抗体価14未満 : FIA法 ⑤抗体価AI 3.0未満 ⑥30 IU/mL未満 ※①デンカ生研②シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)③ベックマン・コールター(株)④(株)保健科学 西日本⑤BioPlex MMRV IgG ⑥BioPlex ToRC IgG(バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株))	はい	いいえ	

以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は (可能 ・ 見合わせる)

医師記入欄 本人に対して、予防接種の効果、副反応及び予防接種健康被害救済制度について、説明しました。

医師署名又は記名押印

ワクチンロット番号	接種量	実施場所 ・ 医師名 ・ 接種年月日
・乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン ・乾燥弱毒性風しんワクチン Lot No. ※有効期限が切れていないか確認	皮下接種 0.5 ml	実施場所 医師名 接種年月日 年 月 日

風しん・MR予防接種助成希望書 (医師の診察の結果、接種が可能と判断された後に記入して下さい。)

医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や目的、重篤な副反応の可能性などについて理解の上で、接種を希望しますか。
(希望します ・ 希望しません)

※この予診票は、予防接種の安全性の確保を目的としています。このことを理解の上、本予診票が市町村に提出されることに同意します

年 月 日 被接種者氏名(自署)

MR(麻しん風しん混合)予防接種説明書

麻しん・風しんの症状について

○ 麻しん

麻しん(はしか)は、麻しんウイルスの空気感染・飛沫感染・接触感染によって発症します。ウイルスに感染後、無症状の時期(潜伏期間)が約10~12日続きます。その後症状が出始めますが、主な症状は、発熱、せき、鼻汁、めやに、赤い発しんです。症状が出はじめてから3~4日は38℃前後の熱とせきと鼻汁、めやにが続き、一時熱が下がりかけたかと思うと、また39~40℃の高熱となり、首すじや顔などから赤い発しんが出はじめ、その後発しんは全身に広がります。高熱は3~4日で解熱し、次第に発しんも消失しますが、しばらく色素沈着が残ります。

○ 風しん

風しんは、風しんウイルスの飛沫感染によって発症します。ウイルスに感染してもすぐには症状が出ず、約14~21日の潜伏期間がみられます。その後、麻しんより淡い色の赤い発しん、発熱、首のうしろのリンパ節が腫れるなどが主な症状として現れます。また、そのほかに、せき、鼻汁、目が赤くなる(眼球結膜の充血)などの症状がみられることもあります。子どもの場合、発しんも熱も3日程度で治ることが多いので「三日ばしか」と呼ばれることがあります。合併症として関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。血小板減少性紫斑病は風しん患者約3,000人に1人、脳炎は風しん患者約6,000人に1人ほどの割合で合併します。大人になってからかかると子どもの時より重症化する傾向が見られます。妊婦が妊娠早期に風しんにかかると、先天性風しん症候群と呼ばれる病気により、心臓病、白内障、聴力障害などの障害を持った赤ちゃんが生まれる可能性があります。

○ 予防接種の効果と副反応について

予防接種を受けた人のうち、95%以上が免疫を獲得することができます。体内に免疫ができると、麻しんや風しんにかかることを防ぐことができます。

ただし、予防接種により、軽い副反応がみられることがあります。また、極めてまれですが、重い副反応がおこることがあります。予防接種後にみられる反応としては、次のとおりです。

○ MR(麻しん風しん混合)ワクチンの主な副反応

(麻しんと風しんの予防接種を同時に実施するときを使用、通常、このワクチンを接種します。)
主な副反応は、発熱(接種した者のうち20%程度)や、発しん(接種した者のうち10%程度)、不機嫌、発熱、発疹です。これらの症状は、接種後5~14日後に多くみられます。接種直後から翌日に過敏症状として発しん、じんましん、紅斑、多形紅斑、掻痒(かゆみ)、発熱等などがみられることがありますが、これらの症状は通常1~3日でおさまります。ときに、接種部位の発赤、腫れ、硬結(しこり)、リンパ節の腫れ等がみられることがありますが、いずれも一過性で通常数日中に消失します。まれに生じる重い副反応としては、【0.1%未満】ショック、アナフィラキシー(ショック症状、じんましん、呼吸困難など)、急性血小板減少性紫斑病(紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等)、【頻度不明】急性散在性脳脊髄炎(ADEM)、脳炎、けいれんがあらわれることがあります。

○ 予防接種による健康被害救済制度について

- ・予防接種法に基づかない接種(任意接種)として取り扱われます。その接種で健康被害を受けた場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済を受けることとなりますが、予防接種法と比べて救済の対象、額等がこととなります。
- ・ただし、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因(予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等)によるものなのかの因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に給付を受けることができます。

○ 予防接種を受けることができない人

- ・明らかに発熱(通常37.5℃以上をいいます。)をしている人。
- ・重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人。急性で重症な病気で薬をのむ必要のあるような人は、その後の病気の変化もわかりませんので、その日は見合わせるのが原則です。
- ・その日に受ける予防接種の接種液に含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことが明らかな人。「アナフィラキシー」というのは通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。汗がたくさん出る、顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出るほか、はきけ、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続きショック状態になるような激しい全身反応のことです。

○ 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ・予防接種を受けたあと30分間程度は、医療機関(施設)で様子を観察するか、医師とすぐに連絡とれるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- ・接種後、1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ・接種部位を清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ・当日はげしい運動はさげましょう。
- ・接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。